

お日さま

浦河小学校
ほけんしつ
2021年12月7日
おうちの方向け号

おうちの人が
わたしてね!

今回のお日さまでは、おうちの方々へ向けて、浦河小学校で毎年行っている「性に関する指導」についてご紹介します。このお日さまで、本校の性の指導がなぜ行われるのか、何を目標に指導するのか、そして子どもたちをどのような大人へ育てたいのかを知っていただけたらと思います。ぜひご一読ください。

浦河小学校 性に関する指導について

浦河小学校では、毎年、各学年で性に関する指導を計画・実施しています。この学習を通して、こんな児童に育てほしい、こんな力を育てたいとして、以下の5つの目標を掲げています。

【性に関する指導の目標】

- ①科学的な知識を身につけ、身体の発達に適した健康的な生活ができる力を育てる。
- ②心理的な性の発達を理解し、性に対する健全な態度をはぐくみ、実践することのできる力を育てる。
- ③自己の性について理解し、自己や他者を尊重し、協力する態度を育む。
- ④正しい判断力を身につけ、社会の中で責任ある行動を実践できる能力を育てる。
- ⑤性の早熟化、性情報の氾濫、SNSから自分を守り、そして他者の心身も守ることができる能力を育てる。

こうした目標の下で性に関する指導を行っております。各学年、扱う内容に関しては裏面をご覧ください。

本校において、このように性に関する指導を行っているのは理由があります。子ども達に正しい知識を伝えたい、間違った情報を覚えてほしくないという思いがあるからです。

今の世の中を見ていると、インターネットやSNSが発達し、調べようと思えば、性に関する情報をいくらでも入手できてしまう、そんな世の中です。しかし、そうした情報の中には当然誤った情報や、不安を醸り立てるだけの情報などもあります。子ども達が、性の偏った情報や見方を知らず知らずのうちに得てしまう恐れがあります。

「性」というテーマは、将来的に見ると誰もが触れることのあるテーマです。むしろ、一生付き合っていかなければならないテーマでもあります。

そうした将来に大きくかかわってくる「性」。子ども達の中に、歪んだ興味本位の情報が入ってくる前に、科学的な視点に立ち、正しい情報を伝えたいと思い、この性の指導に取り組んでいます。

また、「性」に関する指導とは、体、心、そして命の学習です。この学習を通して、これから大きくなっていく子ども達へ大切なメッセージを伝えていきます。家庭と学校、協力して共に進めていきたいと思っています。ご家庭でも、折にふれて、お話ししていただければ幸いです。



各学年、次のようなことを学習しています。

【全学年】

★自分を守るためにできること

- ・心のブレーキ
- ・プライベートゾーン
- ・情報モラル
- ・自分を守るために ①はっきり「イヤ」と言う ②とにかく逃げる ③誰かに相談する

【1年生】

★男の子と女の子

- ・男女の外性器の名称とはたらき
- ・プライベートゾーン
- ・体の清潔

【2年生】

★赤ちゃんはどこからくるの

- ・赤ちゃんのはじまり
- ・赤ちゃんの成長の様子
- ・おへその役割

【3年生】

★たんじょう～大切な命

- ・お母さんの体の変化と赤ちゃんの成長
- ・周囲の人たちの愛情によって育てられた大切な命

【4年生】

★成長する体・心

- ・思春期の体の変化
- ・心の成長、他者を認め、協力し合うことの大切さ

【5年生】

★大人のからだへの変化・準備

- ・ホルモンの働き
- ・二次性徴

【6年生】

★生命誕生、生命尊重

- ・命のはじまりから命の誕生
- ・生命の神秘

おうちの方へ

★4回目の食に関する指導を行いました。

11月30日に今年度4回目の食に関する指導を行いました。今回は「朝ごはんのひみつ」という内容です。

朝ごはんは1日の元気の源であり、眠っている間に使われたエネルギーを補給してくれます。朝ごはんには4つの役割があり、「あたまを起す」「からだを温める」「おなかをすっきりさせる」+「生活習慣病の予防になる」の4つです。黄色グループ（炭水化物）、赤グループ（たんぱく質）、緑グループ（食物繊維、ビタミン、ミネラル）の3つをバランスよく食べることで、こうした働きを得ることができます。

また、朝何も食べられないという人も、何か少しでも食べて、朝食を食べるリズムを作ることが大切で、そのためには前日は早く寝る、寝る直前に物を食べないということが大事であると伝えました。ご家庭でも、朝食の大切さについて改めてお話ししてみてください。

★靴下の替え持参のおすすめ

先日、浦河でも雪が降り、うっすらと地面が雪で覆われました。やはり雪遊びは楽しいようで、グラウンドや通学路に降った雪をかき集めて、雪合戦や雪だるま作りをしていました。そんな中、靴の中に雪が入り、靴下までびちゃびちゃになってしまう光景も見られました。靴下が濡れたままですと、単に不快だけでなく、足が冷え、しもやけや体調不良の原因にもなります。そうならないためにも、濡れたらすぐに履き替えられるよう、靴下の持参を試してみるのはいかがでしょうか。